

平成 24 年度スキルアップ経費報告

ータブレット端末等の普及による効率的な操作の検討ー

電気電子・情報系技術班 山本 隆人
 中川 輝彦
 電気電子系 和田 俊彦

1. 背景・目的

Apple の iPhone や iPad、Samsung の Galaxy、Google の Nexus など、現在スマートフォンやタブレット端末が飛躍的に台数を伸ばしている。また、先日 Microsoft もタッチ操作のしやすいユーザインタフェースに大きく変更された新しい OS の Windows8 と WindowsRT を発売した。

そのため、これまでのキーボードやマウスを用いた操作だけでなく、タッチ操作を主としたソフトウェアや Web サイトの作成等を考える必要がある。そこで今回タブレット端末やタッチパネル搭載のノート PC を購入、現在使用しているソフトなどで検討し、今後のソフトウェア作成や改良などに繋げたい。

2. 購入物品

当該経費により以下の物品を購入した。

- SONY VAIO T
- ASUS VivoTab RT
- Apple iPad Wi-Fi モデル 16GB
- Apple iPad mini Wi-Fi モデル 16GB
- Apple iPod touch 32GB
- Google Nexus7 16GB

3. まとめ

4 インチ前後のスマートフォンなど小型画面においても、Web サイトはページ全体が表示される。(図-1) その場合、文字が小さくタッチ操作がしづらい。また、Flash 非対応の OS・ブラウザが多い。そのため、スマートフォン専用サイトを作成するなど、小型画面でもタッチしやすいサイトを作る企業や団体などが最近増えている。

今後は様々な OS やバージョン、画面サイズのタブレット端末(ノート PC)において操作しやすいソフトウェアの開発を目指したい。

謝辞：本経費の使用に関して、ご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。



図-1 iPod touch(4 インチ)にて表示している工学部 HP